

授業概要

日本では中小企業が企業数の99%超、従業者数の75%超を占めており、「活力ある多数」として経済の土台を支える重要な役割を担っています。しかし、1990年代半ば以降、開業率が廃業率を下回る状態が続いたことに象徴されるように、中小企業は様々な課題への対応を迫られているため、その活力を十分に発揮しにくい状態にあります。

本講義では、多くのケーススタディを交えて、第1クールで大企業との比較などによる中小企業の特徴等の総論、第2クールで中小企業が直面している様々な課題、さらに、第3クールで諸課題に対処するための政策や制度について、それぞれ講義します。

授業計画

第1回	【第1クール(総論)】中小企業の定義・重要性、周辺概念(内容:ベンチャービジネス(VB)、ニッチトップ企業等についての解説)
第2回	中小企業と大企業との格差(生産性、雇用・賃金、財務・収支構造他)
第3回	中小企業の景気情勢、製造業・非製造業の特徴(中小企業が置かれている経済情勢、業種別の特徴)
第4回	第1クール(1~3回)の総括
第5回	【第2クール(各論①:様々な課題)】産業集積とサプライチェーン(経済の中での中小企業の役割と課題)
第6回	起業活動とイノベーション(中小企業の起業の活発化とイノベーションの実現への寄与)
第7回	国際化(海外への進出、海外からの撤退、海外需要の国内への取り込み等)
第8回	ICT(情報通信技術)への対応(生産性向上のための手段としてICTの活用必要性)
第9回	中小企業が依存する間接金融(金融機関貸出による資金調達(FinTechの影響を含む))
第10回	VBへの直接金融(主に、ベンチャーキャピタル(VC)投資についての解説)
第11回	人材の活用と事業承継(中小企業内部の人材の活用と高齢化で問題になっている事業承継)
第12回	第2クール(5~11回)の総括
第13回	【第3クール(各論②:制度論)】中小企業政策(中小企業の発展を支援する主要な政策)
第14回	中小企業(閉鎖会社)のガバナンスとCSR(企業の社会的責任)・SDGs(持続可能な開発目標)
第15回	全体の総括
第16回	学期末試験として筆記試験を行う。

到達目標

- ・日本における中小企業の歴史的発展と現在の中小企業の位置づけを説明できる。
- ・中小企業の全体像を説明できる。
- ・中小企業を支援する政策の概要と企業活動における資金の働きを理解することにより、実社会における中小企業のキャッシュフローを説明できる。
- ・中小企業で働く人のキャリアパスとモチベーションを理解することにより、自己の将来の目的やキャリアアッププランの具体化に活用できる。

履修上の注意

- ・企業経営や産業・経済に関するニュースに日ごろから関心を持ってください。
- ・始業時刻には着席しておくこと。遅刻は15分以内の場合に認めます(15分超の遅刻は欠席として扱います)。ただし、公共交通機関の遅延等で拳証資料の提出が可能、かつ大学が把握している事情がある場合には救済措置を検討します。

予習・復習

予習: 事前に配布する講義資料の熟読(90分)

復習: 講義資料の再読と毎回の授業での課題・レポート等(90分)

評価方法

学期末試験40%、毎回の授業での課題・レポート等50%、受講態度10%。

テキスト

教科書は使用せず、その都度資料を配布します。